



**令和4年度市長との懇談会が
開催されました**

日時…令和5年1月12日(木)15時～
場所…越谷市役所第1委員会室

越谷市自治会連合会では、毎年、自治会活動と市行政との協調や円滑な連携を図ることを目的として、各地区の自治会を代表する13地区の支部長が出席し、「市長との懇談会」を実施しています。
今年度の懇談会においても、各地区より寄せられた要望に対して、活発な意見交換を行いました。
今後も、自治会連合会では、様々な機会をとらえて地区の皆さんの声を市に伝えるとともに、市と協働によるまちづくりを進めていきます。

要望一覧

- ①平方公園の防災利用について【桜井支部】
- ②県道平方東京線の全面拡幅による通学児童の安全確保と災害時の緊急車両の迅速かつ安全な通行について【新方支部】
- ③増林地区センター前道路（市道 2180 号線）の拡幅延伸について【増林支部】
- ④西大袋区画整備事業の早期完了並びに区画整理地内道路の除草及び新大袋地区センター・公民館を地区のシンボルにするための建物設計について【大袋支部】
- ⑤今後のまちづくりも見据えて、武蔵野線南越谷駅～東川口駅間の土盛り方式を他の地区と同様に高架化にして頂きたいとの要望について【出羽支部】
- ⑥蒲生地区における市道 1171 号線（登戸宮前通り）の拡幅について【蒲生支部】
- ⑦広報物の市による全戸配布について【南越谷支部】
- ⑧中央保育所の跡地利用について【越ヶ谷支部】
- ⑨コミュニティ区域と各行政施策の区割りについて【大沢支部】
- ⑩川柳地区センター・公民館の建替えについて【川柳支部】

※その他、5件の要望については文書による回答

明るく住みよいまちを目指して自治会に加入しましょう



地域の安心・安全のために



花田七丁目自治会 会長 関根 武司

花田七丁目自治会は市内中央部東側に位置し、南には市立病院・保健センター・城ノ上小学校、北には日本庭園・能楽堂がある花田苑、東は新方川に挟まれた静かな住宅街です。その新方川が、平成27年9月関



東東北豪雨によって氾濫し、私たち花田七丁目内も浸水の被害ができました。床下浸水した家が20戸、道路も50センチ程度浸水したことは、地域に長くお住いの方も初めての経験だと非常に驚いておりました。いつこのような予想のつかない災害がおきるかわかりません。自治会員及び地域住民の方々の安全・安心のためにも、自治会として災害に備えた防災資機材を導入しています。浸水被害時における救命ボート、地震が起きた際、円滑に助け合いができるように発電機・簡易トイレ・照明器具なども防災倉庫に保管しています。他に冬季に火災予防の夜警の実施、初期消火の為に消火器も現在準備をしています。防災訓練も行い、花田七丁目に住んでよかったですと思えるまちづくりを目指していきます。

安全・安心な生活 環境を目指して



立野自治会(荻島) 会長 高橋 幸一

立野自治会は、荻島地区南部に位置しており、周りは農村風景の生活環境にあり、会員世帯数は33で市街化調整区域のため会員の増加は難しい状況です。そのため少子高齢状況の中で、会員の皆様の安全・安心の生活環境の向上を目指して、7月からは「ひだまりサロン立野」の名称で健康増進と安否確認を兼ねて毎週水曜日開催しております。さらに、9月には大地震を想定した防災訓



練として、防災本部設置、会員の安否確認さらに消火器訓練及び炊き出し訓練を実施しました。まだまだ地域の活動に於いてもコロナ禍の影響が少なからず続くと考えますが、会員一丸となって乗り越えられるよう頑張ってください。今後も自治会活動を通し自助・近所・共助の気持ちを持続し、住んで良かったと思えるように活動してまいります。



心の通い合う笑顔に 満ちた和のある 自治会でありたい



赤山町一丁目自治会 会長 筒野 貞夫

昭和41年発足以来56年が過ぎました。当初から「心の通い合う笑顔溢れる顔の見える自治会」を目標に様々な活動を行っています。 ■「赤一見守り隊活動」 高齢者や障害のある方等の災害時安否確認登録制度や隊員による訪問見守り。 ■「町内クリーン活動」 住みよい町づくりを目指した町内美化活動。 ■「赤一夏祭り大会」 青年会・子供の模擬店、特別イベント、大抽選会等、全員参加の町民交流活動。 ■「防災避難訓練」 消防署指導による総合訓練、自治会館一時避難場所訓練、救急救命講習会の開催等。 ■「市民体育祭等へ参加」 体育部を設け、各種スポーツ事業への参加。 ■「コミ協祭りへの参加」 模擬店を出店し、搗きたてお餅の実演販売。



赤一美術展

■「長寿を祝う会」
11月23日を赤一の祝日・金老感謝の日と定め、子供達から金メダルが授与されます。

■「町内餅つき大会」
子供餅つき体験、町民の皆さんへ三色お餅のお配り等、年末恒例の町民交流活動。

■「赤一美術展」
会員の文化的な向上と交流が目的。多くの来場者にいつも驚きと感動を与えています。

■「健康麻雀教室」 認知症予防
人間関係の形成、活動意欲の増進が目的。他町会の方も参加されます。

その他、涙を誘う「お楽しみ映画会」、気軽にふれあえる「赤山楽々サロン」・「生き生き元気サロン」、健康維持のための「楽のび



長寿を祝う会



体操教室」、笑い溢れる「赤山寄席」、活動写真満載の情報誌「赤一だより」の発行等々。今後も更に住民の頼りになる自治会となるよう積極的に活動してまいります。「人は人なか」でこそ暮らしていけるのですから。

自治会加入促進のチラシを配布しています

越谷市自治会連合会では、市内の各自治会に対し、加入促進のチラシを配布しています。ご希望の方は、越谷市自治会連合会事務局(越谷市 市民活動支援課内)までお問い合わせください。

【市民活動支援課 ☎ 048-963-9153】



新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行にご注意!!

今年の冬は、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が予測されており、発熱患者が増加する可能性があります。引き続き、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

○基本的な感染防止対策の実施

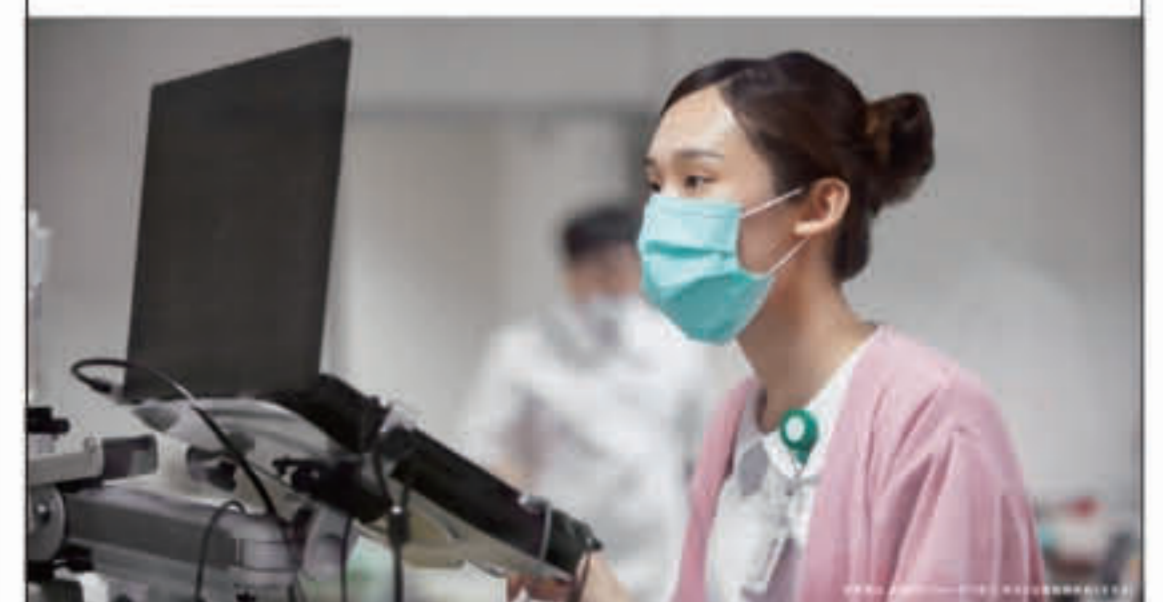
1. マスクを着用(ウイルスを移さない)
2. 人と人との距離を確保(1mを目安に)
3. 「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
4. 3密を避ける、大声を出さない

『5つの場面』

- 場面1: 飲酒を伴う懇親会
- 場面2: 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面3: マスクなしでの会話
- 場面4: 狭い空間での共同生活
- 場面5: 居場所の切り替わり

【出典】厚生労働省ホームページをもとに作成

感染症と闘ってくれている医療関係者の皆さん、ありがとう。



感染が怖い...
それは医療関係者も同じ。
それでもみんなの命を守るため、
新型コロナウイルスと闘ってくれている人々に、
みんなで感謝とエールを
送れる社会でありたいですね。



越谷市消防局からのお知らせ

設置は義務です! 住宅用火災警報器



越谷特別市民
ガーヤちゃん

**「まさか!」の火事。
住宅用火災警報器で助かる命があります。**

火事は決して他人事ではなく、どこの家庭でも起こりうることです。
万が一の時でも火災警報器があればいち早く火災を知らせてくれます。

鳴りますか?

住宅用火災警報器交換目安は10年です!

ご自宅用の住宅用火災警報器を点検してみましょう。

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。

設置年月日を確認し、設置10年を目安に本体の交換を検討してみましょう。

正常な場合は?

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

ピピ、
ピーピーピー



ピーピーピー
火事です



注) 警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は?

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



● それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

【問合せ】 越谷市消防局 予防課 TEL 048-974-0103

自治会連合会先進地視察研修及び自治会シンポジウムは中止に

例年、1月に実施している自治会連合会先進地視察研修と2月に実施している自治会シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度と同様に、今年度の実施も中止となりました。

◆『架空請求』や『振り込め詐欺』が多く発生しています◆
不安を感じた場合は、すぐに警察署・消費生活センターなどに相談してください。

令和5年(2023年)2月1日発行

こしがや自治連だより

（事務局） 越谷市越ヶ谷四一二一
（発行人） 越谷市自治会連合会

越谷市役所市民活動支援課内
会長 石崎 一宏